

| 科目名称 (Course Title) | | | | 担当教員 (Instructor) | |
|--|--|-----------------------|----------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 地域経営演習Ⅳ | | | | 井上 直樹 | |
| 開講学期 (Semester) | 単位数 (Credits) | 履修年次 (Requirement) | 授業形態 (Class Type) | 受講定員の有無 (Maximum Enrollment) | 授業公開 (Workshop Class) |
| 後学期 | 2 単位 | 2 年次 | 演習 | 有 (連絡済) | |
| 授業の概要 (Course Description) | | | | | |
| <p>福知山市などにおいて、市議会の傍聴、市議会議員、市職員、市民などへのヒアリング調査を実施し、地域の課題を把握する。</p> <p>前半では『RESASの教科書 リーサス・ガイドブック』を参考書・資料等に指定し、RESAS（地域経済分析システム。resas.go.jp/）の演習を行う。また、RESASの活用方法を理解するため、ゲスト・スピーカーとして専門家を招へいし、講義および演習を行う。</p> <p>後半では、専門家の助言を活用し、ヒアリング調査で把握した課題をRESASによって定量的に分析したうえで、課題の解決策を検討していく。テキスト『歴史と文化のまち 白杵の地方創生』を輪読し、具体的な課題解決事例や手法を理解する。</p> <p>本演習においては、全国や世界の状況と比較しつつ、地域社会の課題解決に向けて、適切かつ的確な情報収集・分析方法の修得を目指す。</p> | | | | | |
| 授業の到達目標 (Course Objectives) | | | | | |
| <p>自治体や企業、地域や業界の特徴を理解するためには、財務情報と非財務情報をあわせた情報の分析が有効である。本演習では、1年次に修得したフィールドワーク手法、文章表現、プレゼンテーション手法なども活用し、主に非財務情報を使った定量的・定性的な分析手法を理解できる。</p> | | | | | |
| 授業計画 (Course Schedule) | | | | | |
| 第 1 回 | ガイダンスと情報収集・分析方法の全体像 | | | | |
| 第 2 回 | RESASを使った演習(1):地域の人口問題/地域の経済循環 | | | | |
| 第 3 回 | RESASを使った演習(2):地域の産業の特色/地域の消費傾向を探る | | | | |
| 第 4 回 | RESASを使った演習(3):農業・林業・水産業の現状と課題/企業活動の特徴 | | | | |
| 第 5 回 | RESASを使った演習(4):観光の現状と課題/まちづくりの特徴 | | | | |
| 第 6 回 | RESASを使った演習(5):雇用・医療・福祉の課題/自治体の財政を考える | | | | |
| 第 7 回 | RESASの活用方法と演習(ゲスト・スピーカーによる講演と演習) | | | | |
| 第 8 回 | ヒアリング調査の全体像 | | | | |
| 第 9 回 | 市議会傍聴とヒアリング調査(1):市議会議員 | | | | |
| 第 10 回 | ヒアリング調査(2):市役所 | | | | |
| 第 11 回 | ヒアリング調査(3):市民、企業など | | | | |
| 第 12 回 | ヒアリング調査のとりまとめ | | | | |
| 第 13 回 | ヒアリング調査結果とRESASによる分析 | | | | |
| 第 14 回 | 成果発表作成のポイント | | | | |
| 第 15 回 | 成果発表とこれまでの内容のまとめ | | | | |
| 授業時間外学習 (Supplementary Activities) | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・前回の内容を踏まえて演習を実施するため、毎回1時間程度の復習をしておくこと。 ・次回講義の予習として、テキストの該当箇所を1時間程度事前に読んでおくこと。 ・第1回目の演習で指示するRESASオンライン講座をあらかじめ受講し、次回の演習に臨むこと。 ・地域社会におけるニュース、新聞記事などに普段から目を通し、自分なりに課題を分析して、解決方法を考える習慣を身につけることが重要である。 | | | | | |

| 成績評価の方法と基準(Grading) | |
|---------------------------------------|---|
| 評価方法 (割合) | 評価基準 |
| 期末レポート(75%) 授業態度(25%) | 秀：100点 - 90点 優：89点 - 80点 良：79点 - 70点 可：69点 - 60点 不可：59点 - 0点 |
| テキスト (Textbook) | 【書名】 歴史と文化のまち 白杵の地方創生 【著者】 石原俊彦ほか 【出版社】 関西学院大学出版会 【出版年】 2017 |
| 参考書・資料等 (Supplementary Reading) | 日経ビッグデータ編集部『RESASの教科書 リーサス・ガイドブック』日経BP社、2016年。 |
| 備考 (Other Information) | <ul style="list-style-type: none"> ・演習で使用するため、授業になるべくパソコンを持参すること。 ・演習に有用な議論を歓迎するが、私語厳禁を徹底する。 ・授業の進捗等を判断し、授業計画を変更する場合がある。 |
| 教員との連絡方法 (Contact With Instructor) | メールによる予約。 |